

NPO 法人

第 58 号

芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578

TEL 055-288-2345 FAX 055-288-2531 HP <http://ashiyasu.com> Mail afc3193@nus.ne.jp

ネパールトレッキングツアー 高妻潤一郎

白根御池小屋で管理人をされている高妻潤一郎さん。シーズンオフはプロの登山ガイドとして活躍中です。今回は、5名のお客様と共にネパールへの11日間の旅の様子を報告していただきました。ネパールの美しい写真とともに楽しみください。

3月12日(木) 成田→香港→カトマンズ

3月13日(金)カトマンズ→ルクラ 晴れ

カトマンズ到着後、ホテルにて着替えのみをおこない、すぐに再び空港へ。ボーディングパスがでるとすぐに搭乗開始となり、飛行機に乗り込む。サーダー(シェルパ)たちの迎えを受けてロッジへ移動。ゆっくりとお茶を飲み、今日一日の説明やトレッキングのシステムなど、また高山病の話なども入れ込みながら、時間を過ごす。天気もよいのでメラピーク方面への軽いハイキングにでかける。午後は町の散策を楽しんだ。



3月15日(日)モンジョ→ナムチェ 晴れのちくもり後雨

今日は標高差600mを一気に上がるツアー最大の難関。でもナムチェにもほぼ予定通りの時間で到着。しかし天気が悪化、昼食時には雨が降り出した。今日の昼食はてんぷら。皆さん食欲旺盛で高山病の心配もどこ吹く風といった様子。昼食後、小雨の中、町の散策。最初はそれほど気乗りしなかった皆さんだったが、あっという間に1時間半が過ぎた。ロッジへ戻り、サーダーの自宅でバター茶とツァンパをご馳走になる。

3月14日(土)ルクラ→モンジョ 曇りのち小雨

昨日は早めの就寝とし、元気にトレッキングスタート。今日は天候が芳しくなく、ルクラを出発して1時間足らずで雨もパラついてきた。歩みを速めて、パクディンへ到着。お昼はなんと日本の味付けのうどん(トゥクパ)。味付けが日本人好みで、普通に立ち食いうどんを食べているようだ。午後2時間程歩いてモンジョ到着。夕食後スタッフ紹介。今回はサーダーを含め9名だ。



3月16日(月)ナムチェ→シャンボチエ 雨のち雪のち晴

朝のうちは小雨だったが、その後小康状態となった為、10分ほど遅れて出発。しかしナムチェゴンパを過ぎた後から雪へと変わり、一面雪景色となる。それでも湿度があり気温もそれほど低くない事から、思ったよりも足並みはよかった。空港を過ぎた辺りから徐々に晴れ間が見え出し、クスムカングルやタムセルクなども時折顔を覗かせるようになって来た。まだ、エベレスト方面が厚い雲に覆われていたが、それでも雪景色の美しさに興奮ぎみに次々にシャッターを押す。昼食前にクムジュンゴンパへと行き、イエティの頭を見学。その後昼食となる。この頃にはアマダブラムも見えるようになり、天候も一気に回復へと向かう。期待を胸にホテル・エベレストビューへと向かうが、残念ながらコーヒーを飲みながらエベレストを望むことはできなかった。夕食前にほんの少しだがエベレストが顔を出した。明日が期待できそうだ。

**3月17日(火)シャンボチエ滞在 晴れ**

朝から雲ひとつない晴天。今日は標高4000mを越えるゴンラ展望台に向かう。ゆつくりと写真撮影をしながらクンデ村へ。そこからトラバース道を登り展望台へ。昨日の雪の影響もあり、足もとが良くなかったが、それでも展望台では最高の天気でも忘れて写真撮影に追われた。クンデ村のロッジで昼食。往路を戻り、ロッジへ。夕食時には赤く染まるエベレストの夕景を見ながらの食事となり、贅沢な時間を過ごせた。

**3月18日(水)シャンボチエ→パクディン 晴れ**

今朝はエベレストも雲に隠れている。もう昨日に充分見たので、気持ちはナムチェでの買い物に。予定では30分程度が結局1時間近くの買い物タイムとなった。やはり下山は早い！足取り軽く順調に高度を下げ、ほぼ予定していた時間にモンジョへと到着した。天気もやや崩れ傾向なので、さらにモンジョからもコンスタントに足を運び、パクディンに到着。標高差1200mの下山だった。

3月19日(月)パクディン→ルクラ 晴れ

今日の行程は午前中のみ。ルクラへの最後の登りはきつい。それでも4時間でルクラに到着。雨もパラつき出したが、昼食後、最後のお買い物を楽しんだ。ルクラに日本人女性が経営する土産屋が出来ており、皆さんかなりの量を購入したようだ。私はいつものスターバックスでコーヒータイム。wifiが使えるのでタダで日本に電話ができるのが嬉しい。便利な世の中だ。夕食後は現地スタッフ達と飲みながら踊りながらの最後の夜を楽しんだ。

**3月20日(金)ルクラ→カトマンズ 晴れ**

サーダーからカタを受けて空港へ。予定よりも早くカトマンズに到着。午前中は9日ぶりのお風呂タイム。午後は買い物。夕食はリッチに5ツ星ホテルでビュッフェ・ディナーを。その後2日間は市内観光や買い物等、有意義な時間を過ごし、23日の午後成田空港に無事到着。

芦安中全校登山～仙丈ヶ岳～ 清水准一

南アルプス市立芦安中学校は南アルプスの麓にある小さな中学校です。ユネスコスクールにも登録されているこの学校の伝統は、「全校登山」。3年間で北岳、仙丈ヶ岳、鳳凰山を登ります。今年は最高の天気の中で登ることができたようです！報告は、指導者として20年以上関わっている、清水准一さんです！

【1日目】7月10日（金）

梅雨の長雨が前日まで続いた上に台風の影響もあり、実施が心配された仙丈ヶ岳全校登山ですが、予定通り実施されました。この日は時間を追うごとに天候が良くなり、潤いのある森に爽やかな風が吹く絶好の登山日和となりました。広河原インフォメーションセンターに着く頃には芦安ファンクラブから寄付された一眼レフカメラを手に、生徒たちは高揚感いっぱいです。広河原から北沢峠に向かうバスは本登山隊で満員でした。北沢峠のバス停で入山式を済ませ、いよいよ登山道には先輩が設置した自然愛護の看板があり、また、色々な種類の高山植物が咲いていました。沢には雪渓がまだ残っており、歩きやすいように道も作ってありました。



雪渓の向こうには甲斐駒ヶ岳が見えました。馬の背ヒュッテで昼食後、目指すは仙丈ヶ岳の頂上。馬ノ背尾根には鹿の食害防止のために植生保護柵が設置されていました。馬の背尾根のビューポイントで、生徒は良い雰囲気になり、ロールダンスや思い思いのパフォーマンス。植生保護柵の近くで雷鳥の親子を見る事ができました！！子どもは3羽いました。



ハイマツ帯を抜けたところで、南アルプスの自然について博識でありビデオ撮影もしてくれた広瀬さんの解説を聞きました。雪渓を登り切り仙丈小屋に到着！皆、気分最高ーって感じてました。仙丈小屋では、石川さんの、元祖北岳の歌に聞きほれ、生徒たちも登山客を前に、「北岳の歌」を披露しました。山小屋の夕飯とは思えないような豪華な夕食後にはボランティアで片付けと食器洗いもしました。



【2日目】7月11日（土）

予定通り午前3：30！に起床し、4：00に山小屋を出発しました。雲一つなく天の川も見える満天の綺麗な夜空でした。この日も天候が良く気持ちよい登山ができました。2日目の登山道はまだまだ暗く、ヘッドライトを頼りに登りました。だんだんと明るくなっていき、見え始めた富士山はどこから見ても絵になります。念願の頂上に着き、感動の日の出を迎えました。



朝日を全身に浴びながら日の出の撮影後、全員で記念写真。山頂から薮沢カールを一回りして小屋に戻り、朝食をいただいた後出発しました。



仙丈ヶ岳に向かう途中には岩場もあつたりして少し緊張しました。多くの登山者とすれ違いながら下山し、北沢峠に着きました。こもれび山荘では昼食に「スープカレー」をいただきました。このタイプのカレーは初めてでしたが美味しかったです。解団式ではお世話になった支援者や保護者の皆様に登山成功のお礼や、感想を述べました。今回は天気にも恵まれ、寄付してくれた一眼レフカメラでの写真撮影がとても楽しく、電池やメモリーが足りなかった生徒もいたほどでした。

いつもながら芦安ファンクラブの皆さんにはこの学校登山を支えていただきありがとうございました。来年もよろしくお祈いします。



カメラ15台を中学校に寄付 (芦安ファンクラブ)

南アルプスの保護などに取り組むNPO法人芦安ファンクラブ(花岡利幸会長)はこのほど南アルプス市の芦安中学校に一眼レフカメラ15台を寄付した。

学校行事として登山を行っている同校に写真撮影を通じて登山の素晴らしさをさらに感じてもらうと企画。同校で行われた贈呈式には同クラブの塩沢副会長らが訪れ、生徒にカメラを手渡した。生徒は今年、仙丈ヶ岳に登る予定で、中込幸二校長は「カメラは大切、有効に使って行きたい」と話していた。

(山梨日日新聞 2015年7月10日付より)



芦安小5・6年生登山～栗沢山～ 中込景子

芦安中学校と同じくユネスコスクールに登録されている、南アルプス市立芦安小学校。こちら、全校で年間を通じた自然体験活動に取り組んでいます。3年前からは5・6年生の登山が始まり、芦安ファンクラブでもガイドとしてお手伝いさせていただいています。今年は9人の元気な子どもたちと栗沢山へ登りました。子どもたちの頑張りとおもしろい感性に、こちらでも元気をもらった1日でした。ありがとうございました！



こもれびの中、とても気持ちよく登れました！



北沢の清流に手をひたして…「冷たいっ！！」



「山で見つけたステキなものを伝えよう☆」ということで、時折、立ち止まって写真を撮る子どもたち。



南アルプスの女王が、応援してくれているようですね。



休憩中のひとコマ。「木の間から見る空ってきれいだね。」ゆったりと流れる山の時間を、じっくりと味わうように見つめる子どもたち。



ちょっとだけでしたが、甲斐駒ヶ岳も応援に！！ガスの中からその雄姿を目にした子どもたちは大歓声を上げました♪



たくさんの応援を受けて、最後の岩場も元気よく登りました！



登りきって、みんないい顔してますね☆
11歳と12歳、よく頑張りました！



お母さんが作ってくれたお弁当。頂上で食べると一段とおいしかったようです。



「来年は、アッチかなあ。」と言ったかどうか…。
6年生、来年は鳳凰ですからもう少し左ですよ(笑)



長衛小屋で夕食を食べた後、みんなで1日のふりかえりをしました。今日撮った写真を見ながら、自分が見つけた「ステキなもの」を伝えあいました。小さな花から友達の笑顔まで様々でしたが、それぞれ「こんなところが良かった」と自分の思いをきちんと言っていたところがとっても素晴らしいと思いました。

翌日は、広河原でネイチャーウォークと川遊びの予定でしたが、残念ながら台風接近のため中止になってしまいました。それでも、元気いっぱい子どもたちとともに楽しい時間を過ごすことができました。

また、南アルプスで会いましょう！！



登山教室報告～百花繚乱～

毎年恒例の北岳登山教室「百花繚乱」が、7/15(水)～16(木)に実施されました。今年も、たくさんの方にご参加いただき、にぎやかな登山となったようです。参加者の中から3名の方の感想をご紹介します！

山梨県甲斐市 輿石良恵さん

今回で2回目となる北岳登山は、前回とは違い近づく台風を心配しながらのスタートとなった。

いつかは自分だけの力で登ってみたいというある種思い入れのある山でもあるので、丁寧に道順を頭に入れながら一歩一歩歩いていった。先導して下さる芦安ファンクラブのガイドの方々が、私達が疲れたらう時を見計らってこまめに休憩を挟んでくださったり、要所要所で咲いている花の説明もして下さったりしたので、疲れを感じずに楽しく登っていった。

肩の小屋で少し遅めの昼食を摂り再び山頂に向けて歩き始めた。何やら雲行きが怪しくなってきたが、幸いな事に降りだす前に山頂に到着することが出来た。登頂してすぐ、可愛いイワヒバリが私たちを出迎えてくれた。天候は晴れとはいかなかったが、少し心が癒された気分。今年も無事に登頂出来たことの安心感と達成感に浸りながらのんびりと山頂からの景色を楽しんだ。それから雲の合間をぬって写真を撮った。

小一時間いただろうか、少し体が冷えて来た。さすがは3,000m級の山である。名残惜しさも感じながら、肩の小屋へ向かって下山を始めた。

その夜、雨が降り始め、トタンに響く雨音に眼を覚ました。しかし、段々とその雨音が心地よく聞こえ始め、滅多に出来ない体験でもあるため、趣も感じながら再びに眠りに就いた。翌朝は雨も本降りとなり滑って転ばないよう気を払いながら慎重に山を下りていった。

今回は雨こそ降ってしまったものの前回とは違った北岳の一面も見ることができました登ってみたいという気持ちでいっぱい。いつか夢見る自分たちだけの力で挑戦してみたいという気持ちを一層強くした登山となった。



埼玉県上尾市 泉 充さん

台風11号が接近する中での登山教室開催ということで、前々日に実施検討中、前日に実施決定の連絡を頂き事務局の御苦勞を推察しました。前年に引き続きの中止を覚悟しておりましたので、リーダーの山頂往復前倒しの好判断もあり北岳山頂まで行けたことは幸運だったと関係者や同行者の皆様に感謝したいと思います。

百花繚乱の登山教室に何度か参加していますが、大樺沢のミヤマハナシノブ(前回塩沢さんに何度も教えてもらいやっと名前を覚えました)、二俣からの登山道脇の一本のタカネバラ、草スベリの黄色の花の大群落、小太郎分岐からの稜線上のまさに百花繚乱の花々などは毎回変わらないように見えました。しかし、鹿の保護柵が増えているの是一目瞭然でした。石川さんより保護柵設置作業の様子を伺い、北岳の美しい高山植物が維持されているのは、芦安ファンクラブをはじめとする皆様の尽力によるものと改めて感じました。一方、広河原のインフォメーションセンターの高山植物のパネルを見ながら、井口さんより南アルプスの固有種のタカネマンテマの大株が盗掘で消えてしまったとのお話を伺いました。鹿の食害のニュースは度々話題になりますが、盗掘のニュースは最近話題になってないので、北岳で、今でもと驚きでした。特に貴重な植物を選んでの盗掘は鹿の食害と異なり許せないことであり、保護に尽力している皆さんの気持ちはいかばかりかと推察します。私たちも芦安ファンクラブのファンとして高山植物を愛する気持ちだけでも持ち続けられたらと思いました。

今回は山頂西側斜面のハクサンイチゲの群落やキタダケソウを見ることが出来ずちょっと心残りでした。体力が許せばまた参加したいと思います。今後ともよろしくお願いします。



山梨県南アルプス市 中込とも子 さん

「しまったぁ〜」4時38分、北岳登山当日の朝、私は寝坊してしまいました！

4時15分に家を出ないと間に合わないのにどうしよう…パニック状態に陥っていたが、飲み物をリュックに入れ、着替えていると…パジャマ姿の夫が「俺が運転してやるよ」と猛スピードで走ってくれた。5時きっかりに芦安山岳館に到着。心臓バクバク、ジャンボタクシーに乗ってからもドキドキがおさまらないまま緊張のスタートだった。

6時30分、広河原山荘出発(1,530m) 花の名前をいろいろ教わりながら…瑞々しい木々の碧さも目に涼しげで、真っ青な空、大樺沢のものすごい勢いで流れ下る激流の音を聞きながら、ところどころの谷間に見える雪、遠く北岳の頂上を時折見上げながら……一歩また一歩登る。

二俣(2,400m)を過ぎた頃からリュックがやけに重く感じ始めた頃、突然右足太ももがつった！！歩けない？！まだ半分も登っていないのに。経験が少ないとはいえ予想もしなかった事態に困惑。最後尾に登る井口さんが漢方薬を飲むようにとすぐ対応してくれた。即効性があるからすぐ治るよ、大丈夫といわれ飲む。少し休んで歩きだすと、今度は左足太ももに激痛。他の皆さんと一緒に登るのは無理としばらく休ませてもらう。最後まで登り切れるか不安がいっぱい、だが登りたい。塩澤さんが「ゆっくり登りましょう」と励ましてくれて…いつまたあの激痛がくるかと冷や冷やししながら…。

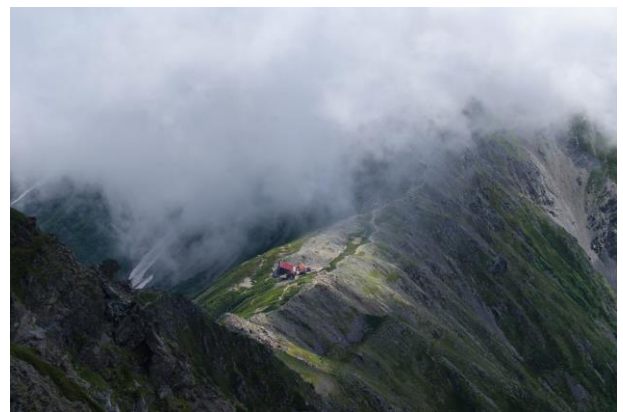


目の前に頂上が見えるのになかなかつかない。塩澤さんの足元だけをみて登る。きつかったぁ〜。30分遅れで頂上へ。私達のためにアーチを作って迎えてくれた皆さんに「ありがとう！！」。塩澤さんを独り占めしたうえに遅れての到着、皆さんに申し訳ない気持ちがいっぱいだったけど山頂に立てて本当に嬉しかった。バンザイ！！

頂上を名残惜しんでいるうちに、風によって雲が西の方から切れはじめ、雲におおわれて何も見えなかった山々や長野の町並みが見え、やがて鳳凰三山の白い花崗岩もくっきり見え大興奮。肩の小屋までゆっくり下りて…そして、やがて甲斐駒ヶ岳もくっきりと見えた。素晴らしい大パノラマ。

山小屋の宿泊も初めて、貴重な水の扱いを知り、いただいた赤ワインはとても美味しかった。

翌日は5時朝食。台風の影響を考えて出来るだけ早い出発と5時30分には下山。雨の中ひたすら下る。水平なところが一か所もなく、木の根元につまずかないことに神経を集中させて…石川さんの真後ろを歩いた最後の30分は意識が遠のいていく感じがして…足も上がらず…10時頃到着、達成感と安堵と…心底ほっとした。ベテランスタッフの穏やかな声かけとサポートのおかげで北岳登山ができて感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



今年の夏山シーズンも、無事に終了いたしました！たくさんの皆さまと、南アルプスでお会いでき、楽しい登山ができましたことを、スタッフ一同大変うれしく思っています。

また来年も多くの方のご参加をお待ちしております！！